

かわら版  
\*\*\*\*\*  
2022年6・7・8月

夏号



# 自然生態園 さぬきの木木

Natural Ecological Garden Sanuki Woods

ガイドプログラム 参加無料

※入園料・駐車料金が別途必要となります。



自然生態園 ガイドウォーク

インタープリターと一緒に楽しく散策をしよう！

土日祝  
10:30~12:00、13:30~15:00

※但し8月20日・21日を除く  
◎各回10名 ◎当日受付  
※平日の団体のガイドウォークも開催しています。  
希望日の2週間前までにお申し込みください。



さぬきの森  
ガイドウォーク

インタープリターが普段公開していない  
エリアもご案内します！

6月19日(日)、7月17日(日)、  
8月14日(日)  
10:30~12:00、  
13:30~15:00

◎各回10名 ◎当日受付  
自然生態園にて受付いたします。



満濃池展望遊歩道 ガイド

展望遊歩道から満濃池の歴史や空海についてご案内します！

6月12日(日)  
10:30~12:00、13:30~15:00

◎なし ◎満濃池展望遊歩 希望の橋  
◎当日受付(随時)

◎…定員 ◎…集合場所 ◎…申込方法

あなたも自然を伝える活動に参加しませんか！

インタープリター・ボランティア養成講座

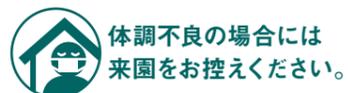
年間通じての養成講座にて、自然に対する興味を深めると同時に、インタープリター・ボランティアとして活動するための知識・技術を学びます。

目的 インタープリター活動に興味がある方に、気軽に活動を体験し、活動内容をご理解いただく講座です。  
募集 随時受付  
対象 高校生以上の方

インタープリターとは「自然案内人」です

インタープリターは、一般的に〈通訳〉と表現されていますが、国営讃岐まんのう公園では園内の自然や歴史・文化を知識のみではなく、その背景にあるメッセージを含めてわかりやすく伝える人をインタープリターと呼んでいます。

新型コロナウイルス感染防止のため、ご理解ご協力をお願いします。



体調不良の場合には  
来園をお控えください。



マスクの着用を  
お願いいたします。



手洗い・手指の消毒を  
お願いいたします。



人と人との間隔を空けて  
ご利用ください。

イベント 2022年6・7・8月

◎…対象 ◎…定員 ◎…参加料金 ◎…申込方法

動植物体験プログラム

プロジェクト・ワイルド

自然発見塾

野生の生きものの暮らしを楽しく学ぼう！

6月11日(土)、7月9日(土)、  
8月13日(土) 13:00~14:30

◎各日20名 ◎100円 ◎事前電話予約



水辺の虫と草

里山の水辺に生える虫や植物  
を観察しよう！

6月25日(土)  
10:30~12:00

◎20名 ◎事前電話予約



里山自然観察会

たんぼの生きもの探検隊 夏編

7月3日(日)  
13:00~15:00

たんぼ、たんぼの畔、水路に分かれて  
動植物を観察します。

◎20名  
◎100円  
◎事前電話予約



自然生態園ナイトガイドウォーク

7月31日(日) 18:00~21:00

◎20名  
◎100円  
◎事前電話予約

夜の自然生態園でホタルや昆虫を観察します。



手作り体験プログラム

里山生活体験 うどんをつくろう

自分で粉からこねてうどんを作り、味わおう！

6月5日(日)、6月18日(土)、7月10日(日)、  
7月16日(土)、8月5日(金)、8月27日(土)  
10:00~13:00

◎各日4組(1組4名まで) ◎200円/玉 ◎事前電話予約



里山伝承体験 竹細工をしよう

水鉄砲や竹トンボ、竹馬など竹でおもちゃを作ってみよう！

6月4日(土)、7月18日(月祝)、  
8月11日(木祝)

◎各回20名  
◎100円/作品 ◎当日受付



コースターをつくろう

「綿」から紡いだ糸を使ってコースターをつくろう。

6月25日(土)、8月7日(日) 10:00~12:00

◎各回5組  
◎700円/作品  
◎当日受付

綿から糸をつくろう

「綿」から紡いで糸作りの体験をします。

7月2日(土) 10:00~12:00

◎各回5組 ◎700円/作品 ◎当日受付



わら草履をつくろう

わらを使って昔ながらの草履をつくろう。

7月17日(日)

10:00~12:00、  
13:00~15:00

◎各回4組  
◎100円/作品  
◎事前電話予約



おばあちゃんのお里教室  
うめぼしをつくろう

1回目/6月4日(土):梅干の塩づけ(1kg)  
2回目/7月9日(土):天日干し漬け込み

6月4日(土)、7月9日(土) 10:30~12:00

◎5組 ◎6月4日は500円/組、7月9日は100円/人 ◎事前電話予約



森の体験プログラム

それゆけ!きこり探検隊

ヒノキ間伐体験

ヒノキをのこぎりで伐る体験をします。

7月2日(土) 10:00~13:00

◎20名 ◎100円/人 ◎事前電話予約



その他

里山ネイチャーデイキャンプ

自然生態園のため池調査や自然観察をします。

7月30日(土) 10:00~18:00

◎小学校4~6年生 ◎20名 ◎1,000円/人  
◎事前電話予約



遊びの楽校

竹トンボ、羽根つきなど懐かしい  
昔遊びが楽しめます!

こどもから大人まで参加できます。

7月23日(土)~8月14日(日)

10:00~17:00 ◎当日受付



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは変更  
または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

国営讃岐まんのう公園 自然生態園

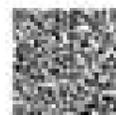
〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12

各種イベントの事前ご予約はこちらまで! Facebookはこちらから!

0877-79-1807

FAX: 0877-79-1704

ホームページ: https://sanukimannopark.jp



さぬきの森の会 会員募集

このかわら版は、「まんのう公園インタープリター・ボランティアの会」、  
「国営讃岐まんのう公園さぬきの森の会」の皆様のご協力を頂いております。

こくえいさぬきまんのう公園さぬきの森で、森づくりや森林体験イベントなどの活動を行う「さぬきの森の会」の会員を募集中です。興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園までご連絡ください。

## 動物 コシアキトンボ

6~7月/逆様池

中型の黒っぽいトンボ。腹部の第3・4節にオスは白、メスは、黄色い斑紋があり、腰の部分が空いているように見えることから「腰空きとんぼ」と呼ばれます。



## 動物 ニホンカナヘビ

春~秋/生態園全域

「ヘビ」と付きますが、トカゲの仲間、小型の昆虫などを食べます。草むらなどに棲み、朝のうちは、石垣の上で日光浴中の姿に出会えるかも。



## 動物 トノサマガエル

春~秋/南の谷、北の谷など

かつては水田やため池で普通に見られたカエルですが、稲作のサイクルや環境の変化によって生息数が減り、香川県では準絶滅危惧種となっています。背中中央を通る線が緑色ならオス、灰色ならメスです。

## アクティビティ プロジェクト・ワイルド

### いろいろいっぱい色いっぱい



- 参加者に好きないきもの名前とその色を言ってもらおう。それを列記し、なぜいきものに色がついているのだろう?と問いかける。
- 様々ないきものカタチを描いた絵を見せ、好きなものを選び、そのいきもの色を塗ってもらおう。また、どうして、その色なのか、理由を発表してもらおうことも付け加える。
- 参加者の絵を集め、一人ひとり発表してもらおう。
- 同じいきものでも住んでいる環境により色が違うことや親子でも色が違う場合もあることなどに気づいてもらおう。保護色、警告色、威嚇色や婚期色などいきものにとっても色は、生きるために重要な役割を果たしていることを理解してもらおう。

# 自然生態園

## さぬきの森

しぜんせいいたいえん

お客様へお願い

- 動物は管理されているため、採取は禁止となっております。
- 自然環境を保つため、かぶれやすい木やマムシ、スズメバチなど危険な動物も生育・生息しています。ご注意ください。
- 生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
- ウォーキングに適した靴を履いてご来園ください。
- さぬきの森へは、閉園1時間前までにお入りください。お車、自転車でのご入園はできません。

入退園申請エリア

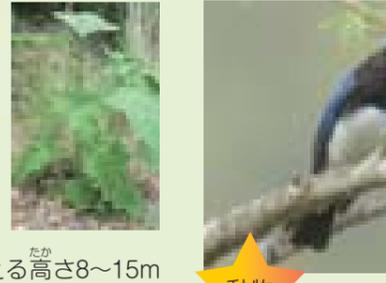
このエリアは、さぬきの森ガイドウォークでご案内します。日時は、表面のイベント案内をご参照ください。

## 風景 コジイの巨木

さぬきの森で最も大きい(?)シイの木です。樹齢は...何才でしょうね。80~100才前後と推定されます。

## 動物 サンコウチョウ

夏鳥として訪れ、少し薄暗い林で見られます。「ツキ、ヒ、ホシ、ホイホイホイ」というさえずりが「月、日、星」と聞こえることから「三光鳥」と呼ばれます。



## 植物 オカトラノオ

野山の草地に生える多年草です。6~7月に白い花を咲かせます。花(花穂)の形が「虎の尾」に似ているので、オカトラノオと呼ばれます。花は花穂の下から上に順番に咲いていきます。

## 植物 キリ

林縁などに生える高さ8~15mの落葉高木です。成長が早く、材は軽くて湿気を通さない良質の木材として、古くからタンスなどの家具や下駄、琴などの材料として利用されています。

## 植物 ネムノキ

マメ科の樹木で、ピンク色の細い糸のように見えるのは花のおしべです。夜になると葉を閉じることから「眠の木」と呼ばれるようになったといわれます。

## トピックス 自然生態園のカエルたち

豊かな里山の環境が残っている自然生態園では、7種類のカエルが生息しています。産卵時期やオタマジャクシからカエルとなって陸に上がる時期は、カエルの種類により異なります。北方系のカエルは6月頃(田植えの時期)までに、南方系のカエルは7月頃までにオタマジャクシからカエルとなり陸に上がります。

	カエルの種類	産卵期	卵塊形状 産卵数	鳴き声
北方系	二ホンアカガエル	1月中旬~3月中旬頃に一度、冬眠から目覚めて産卵し、また冬眠します。	産みだては、手で卵塊が持てます。500~3,000個	キョッ、キョッ、キョッ
	ヤマアカガエル		手で卵塊を持つとゼリー状にたれます。1,000~1,900個	キイララ、キイララ
南方系	二ホンヒキガエル	秋から翌春	ひも状 6,000~14,000個	クッ、クッ、クッ
	トノサマガエル		つぶれた円形状 2,000~3,000個	グルル、グルル、グルル
	二ホンアマガエル	4月下旬~6月上旬	少量ずつ数回に分けて産む 250~800個	ゲッ、ゲッ、ゲッ
外来種	シュレーゲルアオガエル		泡状の楕円形100~660個	コロコ、コロコ、コロコ
	ウシガエル	5月~8月	6,000~4万個	ウオー、ウオー、ウオー

※ウシガエルは、特定外来生物のため捕獲、駆除を試みています。

自然生態園の南の谷にある田んぼでは、カエルたちが生きていくことのできる豊かな環境を保全するため、インタープリター・ボランティアのみなさんと一緒に、田んぼを耕さない「不耕起栽培」、冬でも水を抜かない「冬水田んぼ」、除草剤を使わない「人力で草抜き」で古代米を育てています。土・日・祝に開催しているガイドウォークでは、田んぼとカエルの関係についても解説をしています。是非ご参加ください。